

AY-5, BY-5

臨床心理学

以下の事例を読んで、設問に答えなさい。

Aは、3歳6か月の男児である。極度の痩せと活動性の低下のために小児科外来を受診した。同年齢の子どもの平均と比較して低身長及び低体重であり、手足はか細く肋骨の形が透けて見えるほどに痩せてぐったりしていた。顔色は悪く、生気が乏しく、無表情であった。皮膚は乾燥し垢がたまり、歯垢・歯石があった。ネグレクトを疑われて即日入院となった。

家族は父親と母親、知的障害の姉、本児である。本児は7か月の時に風邪をひいて嘔吐したことを契機として、人工乳以外のものを一切摂らなくなった。「食べさせられないのは親のせい」と思っていた母親は、誰にも相談できずにいて、次第に本児を外出させず、隠すようになった。2歳10か月を過ぎると、次第に痩せてぐったりしてきたので夫に相談したが、夫は「様子を見よう」としか言わなかった。あまりにもぐったりしてきたので、母親が病院に相談した、という経緯であった。

- 1 本児に対して医師、看護師、栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士、臨床心理士のチームで関わる時、臨床心理学の観点から、どのような治療プランを提案しようとするか。根拠とともに説明せよ。
- 2 この事例に対して心理アセスメントをしたい。どのような時期に、どのようなアセスメントが可能であるか。具体的に論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

発 達 心 理 学

コミュニケーションに関する次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 言語の機能（働き）について、伝達、思考、行動調整という点から説明せよ。
- 2 0歳から就学前までのコミュニケーション能力の発達過程について、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションに分け、それぞれ論ぜよ。

(100点)

AY－5，BY－5

社 会 心 理 学

緊急事態における援助行動について、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 緊急事態に置かれた者が援助行動を起こすまでにたどる意思決定について、三つから五つの段階に分けて、簡潔に説明せよ。
- 2 1の各段階において、援助行動を抑制する要因にはどのようなものがあるか、説明せよ。
- 3 雑踏で嘔吐して倒れている人がいた場合、周囲の人の援助行動を促進するための対策にはどのようなものがあるか。2で記載した要因を踏まえて、具体的に論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

家族社会学

現在わが国では、少子化が社会問題となっている。少子化の問題に関連して、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 最近の未婚を巡る状況について、以下の語句を用いて簡潔に説明せよ。
生涯未婚率，非婚，結婚意欲
- 2 OECD（経済協力開発機構）加盟諸国を対象とした分析では、合計特殊出生率と女性労働力率との間に一定の関連性が認められ、その傾向は、1970年前後、1985年前後及び2000年以降で異なっていると指摘されている。
それぞれの時期でどのような関連性が認められるか、そうした関連が起こる要因にも触れながら説明せよ。
- 3 現在、女性の育児休業取得率は8割を上回っている一方、いわゆる「M字型曲線」の底部はなくなっていない。この理由として考えられることを説明した上で、どのような対応策が考えられるか論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

社会病理学

- 1 下の図は、「少年の一般刑法犯 検挙人員中の再非行少年の人員・再非行少年率の推移」を表している。この図から読み取れる傾向を指摘せよ。

*この問題は、著作権の関係から、掲載できません。

（法務省法務総合研究所編『平成27年版 犯罪白書』より）

- 2 以下の語句から二つを選び、その内容を説明せよ。

相対的剥奪 アノミー 中和の技術 準抛集団

分化的接触 ラベリング 第二次逸脱 社会的絆

- 3 1で指摘した傾向について、2の語句のうち二つ以上を用いて考察せよ。

なお、2で選択しなかった語句を用いて考察してもよい。

(100点)

AY-5, BY-5

社会福祉援助技術

クライアントを援助する際の社会資源の活用について、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 社会資源とは何か、簡潔に説明せよ。
- 2 社会資源をフォーマルなものと、インフォーマルなものに分類する場合、それぞれの特徴について説明せよ。
- 3 社会資源を活用する際の留意点について、クライアントを援助する過程と関連づけながら論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

児 童 福 祉 論

平成26年7月に策定された「放課後子ども総合プラン」について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 国は、「放課後子ども総合プラン」において、子どもの放課後施策の充実に向けた事業計画を策定した。この事業計画の中から三つの施策を挙げ、各々について説明せよ。
- 2 同プランが策定された背景の一つとなっている「小1の壁」について、1で記載した内容と関連づけながら論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

高 齢 者 福 祉 論

高齢者の住まいについて、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 3種類の介護保険施設サービスについて、それぞれの課題（又は問題点）に触れながら、簡潔に説明せよ。
- 2 「サービス付き高齢者向け住宅」について、近年の法改正の動向に触れながら、その特徴を説明せよ。
- 3 1及び2を踏まえて、今後の高齢者の住まいを巡る課題及び対応策について論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

教 育 方 法 学

OECD（経済協力開発機構）のデセコ(D e S e C o)プロジェクトは、これからの青少年の育成すべき能力として、キー・コンピテンシーの概念を提唱した。この国際的な動向を背景として、わが国においても、思考力・判断力・表現力等の育成が強調され、これらの能力の基盤として言語に関する能力の育成が考えられるようになった。

キー・コンピテンシーと言語に関する能力について、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 OECD（経済協力開発機構）のデセコ(D e S e C o)プロジェクトが提唱したキー・コンピテンシーについて、簡潔に説明せよ。
- 2 キー・コンピテンシーを伸ばすため、学習指導要領において、言語活動の充実が求められている理由を説明せよ。
- 3 言語活動の充実のため、どのように授業を改善・工夫することができるか。小学校又は中学校の理科あるいは社会の授業を例にして論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

教 育 心 理 学

教育現場では、偏差値を用いた教育評価が行われている。偏差値について、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 偏差値について、具体的な計算手順を挙げて説明せよ。
- 2 偏差値の変化によって教育の指導効果を測定する場合、どのような点に留意すべきか指摘せよ。
- 3 2に記載した点を克服するには、どのような方法があるか。具体的な方法を挙げながら論ぜよ。

(100点)

AY-5, BY-5

教育社会学

ニューカマーについて、次の1から3の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 ニューカマーとはどのような人々を指すか、簡潔に説明せよ。
- 2 ニューカマーの子どもたちが日本の学校で経験する困難にはどのようなものがあるか説明せよ。また、その困難が、就学や進学に与える影響についても説明せよ。
- 3 1及び2を踏まえ、ニューカマーの子どもたちに対する教育支援の今後の課題（対応策）について論ぜよ。

(100点)

A Y - 5, B Y - 5

民 法

民法は、**2題出題**されています。

民法を選択する場合は、**第1問又は第2問のどちらか1題のみを選択して解答**してください。その際、答案用紙表面上部の受験科目欄には、「民法」と記入するほか、選択した問題にあわせて「**第1問**」か「**第2問**」を○で囲んでください。

第 1 問

Aは、Bに対し、Aの所有するテレビを、代金5万円、支払日を1か月後として売却し、即日、テレビをBの自宅に搬入した。ところが、Bは、支払日に代金を支払わず、Aが相当期間を定めて代金の支払を催告してもなお支払わなかったことから、Aは売買契約を解除した。他方で、Bは、Aからテレビの引渡しを受けた後、Cに対してテレビを代金5万円で売却したが、Cが海外に出張中であるため、Bは、Cが日本に帰国するまでの間、テレビを保管している。

AC間の法律関係について論ぜよ。

(100点)

第2問

Aは、Bに対し、平成18年3月1日、弁済期を同年4月1日として100万円を貸し付け、Cは上記債務について連帯保証した。Aは、平成28年6月1日、Cに対し、連帯保証債務の履行を求める訴えを提起した。本件の貸金債権の消滅時効期間が10年であることを前提に、次の各問において、Cが支払を拒むことができるか否かについて論ぜよ（各問はそれぞれ独立したものとする。）。

- 1 Bが、Aに対し、平成27年12月1日、30万円を弁済していた場合
- 2 Cが、Aに対し、平成27年12月1日、30万円を弁済していた場合
- 3 Aが、Cに対し、平成28年2月1日、手紙で100万円の支払を求めている場合
- 4 Cが、Aに対し、平成28年5月1日、時効が完成していることを知らずに30万円を弁済していたが、他方で、Bは、本件貸金債務の消滅時効を援用する旨の意思表示をしていた場合

(100点)

AY-5, BY-5

刑 法

刑法は、**2題出題**されています。

刑法を選択する場合は、**第1問又は第2問のどちらか1題のみを選択して解答**してください。その際、答案用紙表面上部の受験科目欄には、「刑法」と記入するほか、選択した問題にあわせて「**第1問**」か「**第2問**」を○で囲んでください。

第 1 問

Aは、午後8時ころ、帰宅するため路上を歩いていたところ、突然背後から野球帽をかぶった男Bが金属バットを持って走り寄ってきた。Aは、周辺で通り魔事件が発生していたことから、金属バットを持って走り寄ってきた男は通り魔に違いないと思った。このため、Aは、身を守るためにはやむを得ないと思い、Bの顔面を1回殴打し、Bに対して全治2週間を要する左顔面打撲の傷害を負わせた。

しかしながら、実際はBはAの友人で、野球部の練習から帰る途中、久しぶりにAを見かけたため、声を掛けようと思って走り寄っただけだった。

この場合のAの罪責を論ぜよ。

(100点)

第 2 問

Aは、無職で所持金もなかったが、空腹に耐えられなかったため、ラーメン店に入り、代金を支払う意思も能力もないことを秘したまま、店長Bにラーメンとビールを注文した。飲食後、Aは、接客中のBの隙を突いて店を出たが、Bは、すぐにこれに気づき、Aを追いかけて、代金を支払うよう求めた。Aは、Bを殴っても代金の支払を免れるしかないと思い、Bの顔面を激しく殴打してBを失神させ、その隙に逃走した。Bは、Aの暴行により、全治2か月間を要する下顎骨骨折等の重傷を負った。

この場合のAの罪責を論ぜよ。

(100点)